



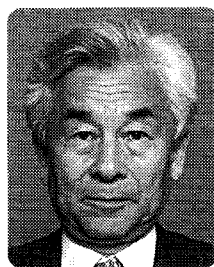
ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会

〒251-0052 藤沢市藤沢115 エフティービル

より良い健康スポーツライフを目指して

藤沢市体育協会理事長 小野隆弘



今年の4月、

青山理事長の後任として理事長に就任いたしました小野です。山田新会長のもと会務の遂行、より良い運営に努めていきたいと考えています。多くの皆様方のご理解・ご協力を得ながら、生涯スポーツの普及振興を図ってまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

60周年という大きな節目を作る事ができました。ありがとうございます。新しい節目へのスタートが始まりました。使命と目的の重要性に責任の大きさを感じています。新会長の「『行動する』体をめざして」をより具体化できるように協会をあげて努力していきましょう。動きたいと思っています。

今の世の中、名詞・若者ことばが、多く溢れている状況です。単語だけで意志を伝え合わせようとしています。名詞だけでは、活用がななく動きのない言葉です。従って世の中動きません。故に動詞をキーワードにする必要があります。

動く・考える・聞く・話すなどの行動することを表す言葉です。前から気になっていた一つの事で、今さらではありませんが、理事長になって自戒を込めて強く思うことであると共に、今回新会長の方針で打ち出された事に改めて思いを深くしたところ

です。現代におけるスポーツ人口の多さは、スポーツ文化の発展と共に上向きで天井知らずというところ。その要因は、健康指向の高まりとの医療の予防について広く関心が高くなつての事と理解しています。今までの継続ですが、11月17日医師会（健康スポーツ医部会・体育協会・スポーツ財団・スポーツ課の連携会議が行なわれました。そこでは、広くスポーツを含めた健康づくりを推進していくために、どのように協動していくのが良いのかなど、今後も具体的な動きを加え意見交換をしていく方向です。藤沢市では、国の「スポーツ振興基本計画」に基づきスポーツ文化を、広く市民一人ひとりのものとして「いつでも」「どこでも」「だ

れでも」「いつまでも」スポーツを楽しむ、健康で豊かなスポーツライフの確立を目指して、『ふじさわスポーツ元気プラン』を策定しました。

『1スポーツ環境の充実、2生涯スポーツ活動の推進』という二本の柱を立て、それを受けたテーマ・実現のための施策が計画・整理されています。更に総合型地域スポーツクラブも立ち上がって活動をしています。

このような状況のもと体育協会としても、協会独自で知恵を出し工夫していく部分と関係団体と連携し協動していく部分を、協議していかなければと考えています。現在『行動する』体育協会の具体的な四つの検討課題については、総務部・事業部・財務部・広報部の四専門部会それぞれに検討をお願いしているところです。

便利さの中で多くのものを忘れてたり、失ったりしているものがあります。例えば人の心・コミュニケーション能力・体力・気力などです。今後積極的な姿勢でほんの少しでも取り戻すために、感動すること・感激すること・感謝することを見つけ汗を流し、多くの人が動詞をキーワードに知恵を出し合っているもの

です。より一層のご指導、ご鞭撻を重ねてよろしくお願い申し上げます。

第58回 神奈川県総合体育大会

種目	成績	得点	種目	成績	得点
バレーボール(男)	優勝	36.0	柔道	2回戦敗退	31.5
バレーボール(女)	優勝	36.0	水泳	8位	30.0
バスケットボール	優勝	36.5	スキー	10位	28.0
卓球	優勝	36.5	ゴルフ	11位	27.0
バドミントン	優勝	36.5	ボウリング(女)	12位	26.0
ソフトテニス	2位	36.0	ソフトボール	2回戦敗退	25.5
ボウリング(男)	6位	32.0	弓道	2回戦敗退	25.5
射撃	6位	31.5	合計		474.5

順位	市町村名	得点
1	川崎市	480.0
2	横浜市	475.0
3	藤沢市	474.5
4	厚木市	451.5
5	平塚市	435.0
6	大和市	431.5
7	秦野市	428.5
8	相模原市	425.5
9	横須賀市	408.0

男子バレー



県総藤沢の男子チームは、毎週火曜日の夜19時30分より22時まで藤沢駅近くの藤沢小学校の体育館を借りて練習しています。9人制チームで初心者からベテランまで幅広い年齢層でバレーボール好きの仲間が集まり楽しく練習しています。藤沢伝統の拾って繋ぐバレーで来年も優勝目指しチーム一丸となって頑張っていきたいと思っています。(今村)

■試合結果

第58回県総体バレーボール競技
一般男子の部 優勝

今年バレーボール会場で総合開会式が行われ、敵かな雰囲気の中、試合が始まりました。連覇のなかった大会で最初のセットを落とす嫌な流れを、みんなの集中力でカバーし、2連覇を達成しました。

1回戦 藤沢市:2^{17-21, 21-14, 22-20}1:南足柄市

◎いきなりの強豪との対戦で1セット目を取られるがエース島田の活躍で勝利。

準決勝 藤沢市:2^{14-21, 21-17, 21-11}1:茅ヶ崎市

◎一回戦突破で気が緩んだか1セット目取られるも逆転し勝利。

決勝 藤沢市:2^{21-16, 21-16}0:平塚市

◎序盤相手のBクイックに苦しむもボールをコートに落とさず拾って繋いで優勝しました。

女子バレー



昨年、8連覇のなかった大会で負けてしまい、連勝記録がストップしてしまいました。

今年、若いメンバーを少し加えて、リベンジの大会となりましたが、ママさん選手が中心のチームで、各自のチームと県総のチームを持ち、7月から週一回の練習では、男子メンバーとママさんの藤沢チームの協力、試合形式を中心にコンビ、チームワーク等のチーム練習を多くしました。

9月9日の大会は、1回戦、2回戦は、井関、安藤、杉山の強力サーブ打線が爆発し、あつと言いう間に点を取り、勝利しました。

決勝戦は平塚市と対戦、1セット目は若いスパイカー陣の頑張り、2セット目を取ったものの、2セット目は終盤までリードされる苦しい展開、ここから、キャプテン渋谷川ベテラン勢が粘って得点し、ジュースに連れ込み逆転勝ちしました。(杉山)

卓球

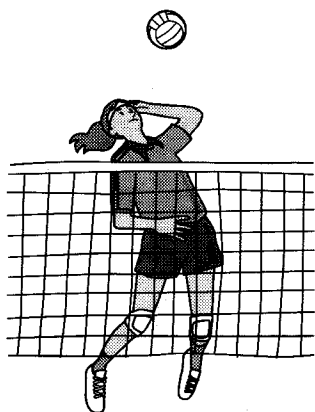


試合の組み合わせを見て目を疑いました。プロックごとの優勝チームが覇者となる県民総体。その昨年度の優勝同士(藤沢市・相模原市)が、今年同じプロックに、しかも一回戦で対戦することになったのです。

組み合わせは抽選で決まります。その不運を嘆いても仕方ないこと。それから打倒相模原市をスローガンに練習を開始しました。

そして試合当日。選手たちは緊張のためか、いつも入るボールが入らない。とつたりとられたりのシーソーゲームが続きました。しかしプレッシャーからくる緊張は、一本一本を大事にとつていくうちに集中へと変わっていききました。そしてついに、もぎとつた勝ち点4。皆の笑顔は最高でした。

一回戦突破後は順調に勝ち進み、プロック優勝連覇を果たすことができました。実力・気力・チームワークの藤沢チーム。来年もさらに磨きをかけ三連覇に挑みます。(井置)



■対戦成績

- 1回戦 藤沢市:4-3:相模原市
- 2回戦 藤沢市:6-1:横須賀市
- 準決勝 藤沢市:4-1:座間市
- 決勝 藤沢市:4-2:横浜市

- 監督 井置 節子
- 選手 板垣 時男/植村 幸司/本間 新美子
- 松本 益男/岩下 和美/鈴木 弘子
- 井置 奈都/松本



バスケットボール



藤沢市大会連勝中のナツチに所属するメンバーを中心に集まり、毎試合100点近い得点をあげて、2年連続での優勝となりました。

#4長谷川のアシストパス、#16西川忍の3ポイントなど、高い得点力を誇り、毎試合100点以上の得点をあげ、大差で勝ち決勝に残ったが、決勝では、秦野市のエースの確率の高いミドルシュートに苦しめられ自チームのリズムを崩す場面もあったが、粘り強いディフェンスとガード陣の落ち着いたゲーム運びにより、終始リードをたもっての勝利となりました。(小池)



■対戦成績

1回戦	藤沢市: 112-60:	座間市
2回戦	藤沢市: 142-65:	愛川町市
準決勝	藤沢市: 112-60:	川崎市
決勝	藤沢市: 95-82:	秦野市

■対戦成績

1回戦	藤沢市: 5-0:	三浦市
2回戦	藤沢市: 5-0:	秦野市
準決勝	藤沢市: 5-0:	鎌倉市
決勝	藤沢市: 3-1:	大和市

バドミントン



昨年は1回戦で負けてしまい、「今年こそ優勝!」の合言葉で選手皆が試合に挑みました。各市町村共に選手層が厚くなり、どこが優勝してもおかしくない状況でした。でもそんな中で優勝出来た事はとても嬉しかったです。また来年もこんな気持ちになれる様、選手を大事に育てていけたらと思います。(野田)



第62回 藤沢市総合体育大会

■総合成績

順位	地区名	得点
優勝	明治地区	196.0
準優勝	滝の沢地区	181.5
第3位	中里地区	181.0
第4位	湘南台地区	174.0
第5位	長後地区	173.5
第6位	藤沢地区	173.0

■種目別優勝

種目	地区名
卓球	長後
軟式野球	明治・片瀬
バドミントン	湘南台
ソフトボール	駒寄・大道・辻堂・石川
バレーボール(男子)	高谷
バレーボール(女子)	藤沢
硬式テニス	滝の沢
ソフトテニス	明治

※軟式野球は雨天の為、決勝進出地区決定後終了となりました。
※ソフトボールは雨天の為、準決勝進出地区決定後終了となりました。



村岡中学校サッカー部 全国大会出場

我が藤沢市立村岡中学校サッカー部は、25年ぶりに全国大会に出場し、ベスト8という成績を残すことができました。選手達一人ひとりが自分たちなりに考え、真摯に日々の練習に取り組み、一戦一戦苦しい試合を勝ち抜いていけたことで、チームとして大きく成長することができました。ここまで来るために戦ってきたチーム、応援してくださった関係者の皆様、本当にありがとうございました。(サッカー部顧問 森)



全日本ベテランテニス 選手権優勝に際して

塩見 芳彦

苦節15年、ではなく楽しく右記の大会に出場し始めて15年、初めて優勝できました。最初の年に絶好のチャンスがあったのですが、運悪くのがし、その後5回の決勝も、全て敗退しました。今回の強敵を破つての優勝は、たいへん嬉しいです。応援していたパートナーの奥さんが涙を流さんばかりに、喜んで下さいました。

さて、私の普段の練習ですが、1時間程度のシングルスとダブルスのゲームを、週に各1回程度やっています。仕事の主に奥様方の相手も、少し役立ちます。月に1〜2回位、横須賀にあるクラブで練習させてもらっています。私のダブルスは、10年前から特殊な陣形を使っています。日本では、まだほとんど使われていないので、かなり有利ではないかと思っています。来年は60歳になるので、もう少し頑張りたいと思っています。



■優勝された塩見選手(左)

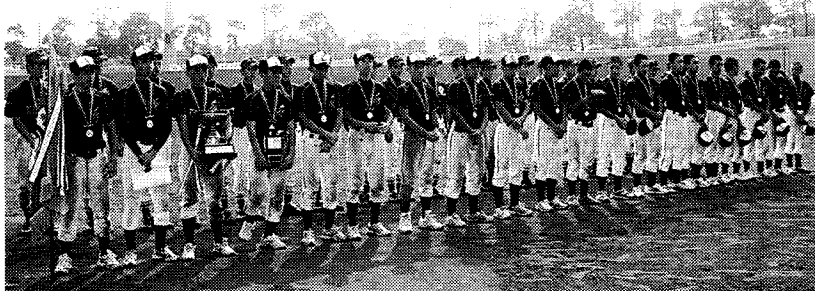


全国中学硬式野球 選手権大会で優勝

湘南クラブ

8月2日から4日に大阪府で開催された第38回ボーイズリーグ中学硬式野球選手権大会において、藤沢市善行に本拠地を置く湘南クラブが、見事全国優勝を果たしました。

湘南クラブは、3日間で6試合の厳しい戦いの中で、順当に勝ち進み、決勝戦では2年ぶり3回目の優勝を目指すオール枚方(大阪北)を8対2で破り、歓喜の瞬間を迎えた。



■表彰式での湘南クラブの皆さん

優勝の勢い冷めやまぬまま、13日から17日に行なわれた、第1回全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップにおいても、全国優勝を果たした湘南クラブの快進撃は止まらず、1回戦から順当に勝ち進み準々決勝、準決勝共にワールド勝ちし、勢いそのままに決勝まで駒を進めた。

東京ドームで行われた決勝戦。ジュニアホークス(大阪南)を相手に、6回に1点を先制したが、最終回2アウト、あと一人のところと同点本塁打を打たれ、延長8回には犠牲フライによって勝ち越され、惜しくも準優勝という結果に終わった。

あと一步の所で初代チャンピオンを逃したが、今回の「一球の大切さ」という経験が、選手達のこれから、また湘南クラブの大きな飛躍へと繋がることは間違いないだろう。(青山)

編集後記

第66号の巻頭言で、山田新会長が語られた「行動する」体協を目指して、を具現化して、「より良い健康スポーツライフを目指す」と本号で小野新理事長が、力強くその活動方針を述べられた。

お二人の新しい強力なリーダーシップの元、更に飛躍する藤沢市体協が順調に始動した。今年も我等スポーツ仲間が全国各地で目覚ましい活躍をしている事が次々と枚挙にいとまなく沢山報告されてきている。県全体の総合成績では、0.5ポイントの差で3位に甘んじた。来年こそ優勝と期待は大きく膨らむ。(木全・常田)



(木全・常田)

第23回 スポーツ人の集い

◆日時 平成20年2月23日(土)
午後5時30分～

◆会場 藤沢市民会館小ホール

第1部 式典

この一年間に活躍した選手・団体等に贈られる「藤沢スポーツ賞」の表彰

第2部 講演会

「プロとアマの指導法の共通点と違い」

講師 江藤 省三氏

- プロフィール
- ・1942年生まれ
- ・1966年 巨人軍入団
- ・1969年 中日移籍

退団後、コーチとして巨人、ロッテ、横浜、シドニーオリンピックで歴任。現在NPO法人JBB A理事長。(ジャパン・ベースボールアカデミー)

